



約4年ぶりに実施した
交通安全の一斉街頭指導

5月8日に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ分類に変わりました。まだ感染が終息したわけではありませんが、さまざまなイベントや会議、懇親会などがコロナ禍前と変わらず開催されるようになりました。私も多くの行事に

こんにちは!!

市長です

Vol.67

「笑顔」

伺わせていただきますが、「4年ぶりに」があいさつの決まり文句になっています。一口に4年といっても、誰にとっても辛く、長い我慢の日々でした。「外出を控えてください」「人との距離をとってください」そんな中で、地域の集まりも仲間との交流も断念せざるを得ず、「もうこのまま行事や会合が再開されないのでは」と懸念していました。コロナ禍の中でも実施した行事がありました。感染に配慮しながらの開催でした。一番心配だったのは、顔を合わせる機会が減ること、人と人との間に「心の距離」が生まれてしまうことでした。しかし、コロナ禍を経て行われている行事では、皆で困難を乗り越え、当たり前前に人とつながれる素晴らしさを再確認できる気持ちが入り込んでいます。以前よりも絆が深まっているように感じます。久しぶりに見るマスク越しではない笑顔が、一段とまぶしく見えます。私も皆さんの笑顔に会いに、多くの行事や催しに伺いたいと思います。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎253215)

美術の小窓

《雨けむる》

瀧沢 巨森 作
1988年
縦91cm×横72.5cm
素材：紙本着色



福島県出身の日本画家・瀧沢巨森(1918-2016)は、東京で花鳥・風景画、歴史画、人物画を学び、1943(昭和18)年に敷島村(現在の渋川市赤城町)へ移り住みました。1946(昭和21)年には、渋川町(現在の渋川市渋川)へ転居して、「民芸研究所」を設立し、地方色豊かな特産品(民芸品)づくりに励みました。1970(昭和45)年に「群馬日本画家協会」を設立すると、郷土作家の育成に力を注ぎ、現在も活躍する多くの作家を育てました。

この作品は、6月26日(月)まで市役所第二庁舎1階回廊の北東の壁面で展示しています。

◆6月9日(金)～18日(日)、第二庁舎1階もみじサロンで「第20回 渋川市民美術展」を開催します

●市美術館は、移転のため休館しています

地域おこし
協力隊

長沼隊員の
おすすめスポット
— Vol.27 —



今年は季節の流れが早く、桜の開花もツツジの開花もあっという間でした。

6月は市の花、アジサイの時期です！今回ご紹介するのは、アジサイのおすすめスポット「真光寺」です。ここは、桜の名所ですが、アジサイのスポットでもあるんです！お寺というしっとりとした雰囲気の中に咲くアジサイが、とても風情があり、きれいです。両脇にアジサイの咲く道をゆっくり歩くと心が落ち着く気がします。ぜひ、行ってみてくださいね。



▲協力隊の
SNSは
こちら

